

平成 29 年度 第 2 回グローバル気候変動適応研究推進小委員会 議事録

場所 岡山大学

時間 2018 年 3 月 7 日 (水) 12:25-13:30

参加者：矢野，小林，井上，猪股，内田，多田，田中，中津川，東，藤見，丸谷，溝口，渡部，赤松，音田，里深，佐山，椿，戸田，中北，宮本，矢島 (順不同，敬称略)

1. 報告事項

1. 1. 平成 29 年度 (後半) 活動報告

- 第 3 回小委員会 (平成 29 年 9 月 6 日，福岡) で内規案が作成された。
- 平成 29 年度全国大会 (平成 29 年 9 月 11～13 日，福岡) での共通セッション「CS5: 気候変動による影響への適応」及び研究討論会「水工学分野の気候変動適応研究において社会実装の促進に何が必要か？」(中北：オーガナイザー，矢野：進行)
- 水シンポジウムイベント開催 (平成 29 年 10 月 30 日，沖縄)：九州北部豪雨のミニ報告会を開催。100 名程度の参加者。
- 第 2 回幹事会 (メール審議，平成 29 年 1 月 6 日頃より)：平成 30 年度土木学会全国大会での研究討論会提案内容について議論した。

1. 2. 水工学委員会報告

- 334 編投稿 258 編採択
- 水理公式集が発刊される
- 海岸工学委員会に小委員会が発足 (武若委員長，筑波大学教授)
- 次回水工学委員会が 11 月に変更 (論文締め切り 5 月 31 日) 注意事項：ホテルの予約を早めに
- 水シンポジウムが静岡で開催 (環境水理部会担当)
- 再来年度の水シンポジウムは滋賀県
- 水工学の夏期研修会が山口大学で 9 月 10 日～11 日に開催される。
- 土木学会論文集にインパクトファクターをつける活動を実施する

1. 3. 平成 30 年度活動計画について

- 水シンポ (静岡) のイベントについてはグローバルが担当する予定。
- 適応策研究レビューについて進めたい。

2. 審議事項

2. 1. 平成 30 年度全国大会研究討論会について

- 気候変動適応に関する先進事例から学ぶ水工学分野の課題 (仮題)
- パネリスト：北海道の先進事例 (中津川)，九州北部豪雨 (矢野)，海岸工学

の適応委員会から（武若）とし、座長を中北とする。その他パネリストについては今後検討する

2. 2. 内規について

- 前回委員会での内規案を基に、水工学委員会執行部との相談から、第 4 条の定員に関する記述を削除した。
- 内規的にはオブザーバーを追加することができる。
- 本日（平成 30 年 3 月 17 日）付けで制定

2. 3. その他

- 平成 30 年度中に次の小委員長を決定する必要がある。

以上